

災害時の新型コロナウイルス感染症対策へのご協力をお願いします

町では災害時の避難所などで新型コロナウイルス感染症の拡大防止を図るための対策を行います。町民の皆さまのご協力をお願いいたします。

① 事前の対策をお願いします

- (1) 大河原町防災マップで自宅の災害の危険性を確認してください。
- (2) 避難所での3密（密接・密閉・密集）を避けるため、避難所以外の安全な場所への避難（分散避難：自宅での垂直避難や親戚・知人宅への避難、一時的な自動車内での待機など）を検討してください。
- (3) マスク・消毒液・石鹸・体温計・ビニール手袋を非常持出品に加えるなど、感染症対策用品を備えてください。



② 避難所での対策を行います

- (1) 避難者及び運営スタッフの体温などの健康状態を確認します。
- (2) アルコール消毒液を設置し、手指消毒を行うように徹底します。
- (3) 30分に1回以上、数分程度、2方向の窓を開け定期的な換気を実施します。
- (4) 手すり、ドアノブなどの人が接触する共有部分は、1日1回消毒を行います。
- (5) トイレや洗面所の定期的な清掃及び消毒を行います。
- (6) 物品や食事の配給時は接触をできる限り回避します。
- (7) 避難所内で感染者が発生した場合に濃厚接触者を特定できるように避難者名簿を作成します。
- (8) 車中避難（車中泊）をする避難者へエコノミークラス症候群予防のための周知を行います。

災害時にご協力いただける事業所を募集しています

町では災害時にご協力いただける事業所を募集しています。協力の例としては、臨時避難所としての会議室利用や避難車両用の駐車場の開放、食料品・日用品の提供、土のうなどの災害対応備品の提供などです。詳しくは総務課消防防災係までお問合せください。

大河原町メール配信サービス（防災情報）へ登録を！

防災に関する情報をメールでお知らせしています。正確な情報入手し、安全を確保するため登録をお願いします。

【登録の手順】

- ① 配信を希望する携帯電話・スマートフォンから「soumubousai@wbi.jp」に空メール（件名・本文を空白）を送信してください。件名と本文に何も記入しないで、そのまま送信してください。
※ QRコードからもメールを送れます。
- ② 登録完了メールが届きます。これで登録は終わりです。
※メールが届かない場合はご使用の携帯電話・スマートフォンの「迷惑メールブロック設定」をご確認ください。



この記事について 問 総務課消防防災係（2階③番窓口） TEL 0224-53-2111
※防災に関する記事は9月号以降でも掲載する予定です。

防災
お
お
が
わ
ら

内 容

- 災害時の新型コロナウイルス感染症対策へのご協力
- 災害時にご協力いただける事業所を募集しています
- 大河原町メール配信サービス（防災情報）へ登録を

「新しい生活様式」を取り入れた 新型コロナウイルス感染予防対策を！

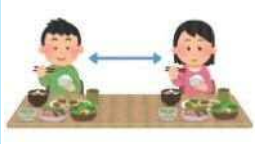
緊急事態宣言が解除され、様々な活動が再開される中、全国的に再び新型コロナウイルスの感染者数が増加傾向にあります。一人ひとりの意識と行動が重要な時期です。

「新しい生活様式」を普段の生活に定着させ、感染拡大の防止に取り組みましょう。

人との間隔は、できるだけ2m(最低1m) 空けよう。



会話や食事をするときには、可能な限り真正面を避けよう。



会話をするときには人との間隔が十分とれない場合は、症状がなくてもマスクを着用しよう。



夏場のマスク着用は熱中症に十分注意しよう。



帰宅したらまず手や顔を洗おう。できるだけすぐに着替えよう。



こまめに手洗いをしよう。手洗いは30秒かけて石鹸を使って丁寧に。



こまめに換気をしよう(エアコン併用で室温を28℃以下に)。



毎朝の体温測定、健康チェックを。発熱や風邪の症状がある場合は、無理せず自宅療養。



日常生活での場面別の「新しい生活様式」

買い物	娯楽・スポーツ	食事	移動
<ul style="list-style-type: none"> ○1人または少人数ですいた時間に ○計画をたてて素早く済ます ○サンプルなど展示品への接触は控えめに ○レジに並ぶときは、前後にスペースを ○通販や電子決済を活用する 	<ul style="list-style-type: none"> ○公園はすいた時間、場所を選ぶ ○散歩・ジョギングは少人数で ○すれ違うときは距離をとる ○自宅で動画を活用したトレーニングを ○予約制を利用してゆったりと ○狭い部屋での長居は無用 	<ul style="list-style-type: none"> ○テイクアウトや出前の活用を ○対面ではなく横並びで座ろう ○料理に集中、会話は控えめに ○大皿は避けて、料理は個々に盛り付け ○お酌、グラスやお猪口の回し飲みは避けよう ○屋外空間での飲食で気持ちよく 	<ul style="list-style-type: none"> ○感染が流行している地域からの移動、感染が流行している地域への移動は控える ○夏休みやお盆期間などの帰省や旅行は控えめに ○発症した時のため、誰とどこで会ったかをメモする。接触確認アプリの活用も ○地域の感染状況に注意する

厚生労働省「新しい生活様式の実践例」を参考に作成